

2019.4.4 <計2枚>

京都大学記者クラブ加盟各社 各位

立命館大学広報課

立命館大学国際平和ミュージアム 2019 年度春季特別展

「よみがえる沖縄 1935」開催

会期：2019 年 4 月 13 日（土）～6 月 29 日（土）

会場：立命館大学国際平和ミュージアム 1 階

立命館大学国際平和ミュージアムは、下記の日程で、2019 年度春季特別展「よみがえる沖縄 1935」を開催いたします。

住民を巻き込んだ 1945 年の激しい沖縄戦は戦前の姿を一変させましたが、近年朝日新聞大阪本社で見つかったネガフィルムには 1935 年の沖縄の日常生活が残されていました。そこには同時に忍び寄る戦争の影も写し出されています。

本展では、人工知能 (AI) 技術と住民の記憶によりカラー化した写真を含む厳選した約 100 点の写真と、国際平和ミュージアム所蔵の沖縄関連資料を展示いたします。1935 年以降、沖縄と日本がたどった道とを併せて考えることで、現代にも繋がる沖縄をめぐる問題に迫ります。

なお、本展は、国内外の作家が参加して京都市内の各地で開く第 7 回「KYOTOGRAPHIE 京都国際写真祭 2019」アソシエイテッドプログラムに参加しています。

記

会 期：2019 年 4 月 13 日(土)～6 月 29 日(土)

開館時間：9:30～16:30(入館は 16:00 まで)

会 場：立命館大学国際平和ミュージアム 中野記念ホール

休 館 日：日曜日(ただし 4 月 14 日、5 月 5 日は開館)、4 月 30 日(火)、5 月 2 日(木)、6 日(月)

入 館 料：大人 400 円、中・高生 300 円、小学生 200 円

※20 名以上の団体は 50 円引き

※KYOTOGRAPHIE 共通パスポート提示で当写真展のみ 1 回に限り無料

※5 月 18 日(土)は国際博物館の日のため無料公開

主 催：立命館大学国際平和ミュージアム、朝日新聞社、沖縄タイムス社

協 力：東京大学大学院情報学環・渡邊英徳研究室、KYOTOGRAPHIE 京都国際写真祭、
フレームマン後 援：京都府、京都市、京都府教育委員会、京都市教育委員会、
京都市内博物館施設連絡協議会、朝日放送テレビ、京都新聞、KBS 京都

そ の 他：朝日新聞創刊 140 周年記念事業

以上

●取材・内容についてのお問い合わせ先

立命館大学国際平和ミュージアム 担当：田畝、安木、井上、稲田

TEL. 075-465-8151

<http://www.ritsumeai.ac.jp/mng/er/wp-museum/>

【関連企画】

<座談会&ギャラリートーク ネガ発見秘話と記者たちの思い>

日 時 : 2019年4月27日(土) 13:00~15:00

会 場 : 立命館大学国際平和ミュージアム 1階ロビー

登壇者 : 清水隆氏(朝日新聞大阪本社フォトアーカイブ)

吉田拓史氏(朝日新聞西部本社報道センター)

堀川幸太郎氏(沖縄タイムス編集局社会部南部報道部)

コーディネーター : 北村順生(立命館大学映像学部映像学科准教授)

定 員 : 200名(予約不要、座談会は聴講無料、ただしその後のギャラリートーク参加には入館料、またはKYOTOGRAPHIE パスポート提示が必要な場合があります。)

<映画上映会>

戦中の沖縄に関する映像と、現代の沖縄で撮影された映画の二本立ての上映を行います。1942年、国家総動員体制づくりの宣伝用につくられた国策映画『海の民 沖縄島物語』と、食べることの意味を通して少年の成長を描き出した『やぎの冒険』を上映します。

上映作品 : 『海の民 沖縄島物語』

(1942年/モノクロ/27分/東亜発聲映画製作 国立映画アーカイブ所蔵)

『やぎの冒険』

(2010年/カラー/84分/監督:仲村颯悟/「やぎの冒険」製作委員会)

日 時 : 2019年5月7日(火) 16:30~18:30

会 場 : 立命館大学衣笠キャンパス 平井嘉一郎記念図書館 1階シアタールーム

定 員 : 40名(予約不要、参加無料、先着順)

※定員を超えた場合は、ご入場をお断りさせていただきます。